



幌

農科大學

八

田

三

郎

様

親
展

京都市
与子道
野直名



群破世後濟平河本
清外廣御清厚
上移疾人、之京都
存為、海、一、思、
困切、
、
都令、之、病、
健康、
自、
腎、
禪、
之、
、
病、
、
、
、
、

病氣のつらさ生れ
しるすはつらさ
と考ふに大受何れぞや
思ふ病は根はなし
術法ありし相記
此の病氣はつらさ
常一公物なり
方又禁りしは
少くもなり
目下家属つらさ
お悔し一孤當り
中しあり
并しつらさ
病氣つらさ
しつらさ
お別れ

目下家屋のつむぎ

お悔し一孤堂の破糸

中しあし一守たえしつ分

弄しつ一守たえしつ分

病氣をうよ程うま老

し守らぬおれらと

おれら先づかた

めしつ一守たえしつ分

狩野直久

あつた

八回 考へて代書